

松富かおりの「世界と日本の安全保障」⑫

北朝鮮「暴風軍団」 ウクライナ戦争参戦の重大な影響

ジャーナリスト・元駐イスラエル大使夫人 松富かおり



ロシア国内に既に計1万人規模の北朝鮮兵が入っている？

米プリンケン国務長官は、10月31日、ロシア国内に計1万人規模の北朝鮮兵が既に入っており、戦闘の訓練を受けていると明言。現在、ロシア

アの死傷者は1日約1250人と、ウクライナ侵略以降最多の水準に達している。「ロシアは北朝鮮のような国に支援を求める状況に追い込まれている」と

らず、ウクライナへの軍事支援を示唆し、殺傷兵器を提供する可能性もあるとした。これはロシアにとってレッドラインを超えるもので、更なる北朝鮮への軍事技術提供を行う可能性もある。ウクライナは、これに

対しイスラエルとの情報共有や対ドローン技術等の防衛協力強化で対抗しようとする。モサドの存在感がウクライナで増している。

断言した。派兵の見返りは「技術支援や金融支援」とした。この問題の影響はウクライナ情勢だけに留まらない。北東アジアの安全保障環境が一層不安定になるからだ。既に韓国はウクライナとの情報協力のみな

10月31日、北朝鮮は北海道の西方に向けて最新型の「火星砲19」を発射、日本のEZZの外ギリギリに



松富かおり著
「明日は戦場にいるかもしれない」
2014年～2016年、イスラエルに特命全権日本大使のパートナーとして赴任。書籍購入希望者は下記へメールで著者サイン入り・送料込みで2300円
kaori.matsutomi@gmail.com

た。核兵器12基が製造できる量だ。彼は、多弾頭の技術は「米国やロシアなど少数の強国のみが持つ」と語り、ロシアが協力した可能性を指摘した。韓国紙東亜日報は、北朝鮮が70キログラムのプルトニウムを保有しているとの情報当局の見方を報じた。



さらに北朝鮮は高濃縮ウランの保有も誇示する。金正恩は「核戦力の強化は絶対に変えない」と断言。米大統領選が行われている11月にも核

実験を強行するのではとの観測もある。できるだけ早く、自国を「核保有国」であると米国に認めさせたいとの思惑が透ける。

1年間に金正恩の懐に入るのは約7億ドル？

北朝鮮は既に、ロシアから技術協力を受け、ロシアの「兵器工場」の役割を果たしている。韓国政府は11月までにロシアに送った弾薬は900万発を超えたと試算する。約200箇所の地下に隠した工場で製造し、累計2万個を超えるコンテナが船で輸送された。韓国の推計を信じるなら、月100万発のペースだ。北朝鮮は豊富な鉱物資源を持つ。韓国銀行の推計で2023年のGDPは重化学工業が8.1%増加。

弾頭の材料、鉄鉱生産等が増加したと見られる。ただし、韓国国防情報本部は「ウクライナで使われた北朝鮮製ミサイルの残骸から、米欧や日本が製造した部品が確認された」と明らかにし、輸入しやすい商用品から半導体等の部品を取り外して使っていると推測する。

派遣される兵の主力は「暴風軍団」と呼ばれる特殊部隊で、傘下に歩兵、狙撃など作戦ごとに専門の旅団を持ち、敵地への潜入など特別な任務にあたる精鋭とされる。日本や韓国にとつて脅威なのは、朝鮮戦争以降、戦争を経験していない北朝鮮の兵士がウクライナで得た現代戦の経験を、100万人を超えと言われる軍全体に習得させることだ。しかも、北朝鮮にとり建国後初の大規模な地上軍の国外派遣は、今後の国外派遣のハードルを下げる。つまり、ことはロシアとウクライナの緊張だけに留まらず、北東アジア全体の不安要素が増す。

露朝の協力は、ロシアが必要とする軍需品や兵士と、北が求めるエネルギーや軍事技術のニーズが一致した結果だ。北では、軍事技術の供与

を渋る中国への不満が高まっていたと見られる。貿易面からも北のロシアへの傾斜が見て取れる。中国当局によると中朝の貿易総額は今年に入り9ヵ月連続で前年割れ。一方、「ロシアへの武器輸出が経済成長に寄与し、経済困難に陥っていた北朝鮮の経済は2023年、好転した」と元陸上自衛隊幹部は語る。元北朝鮮保健総局シンガポール代表の金光鎮氏は「ロシアは一般の傭兵より高い月給約2000ドルを支払っていると聞く。1年間に金正恩の懐に入るのは約7億ドル。これらは核・ミサイル開発や金正恩親子の贅沢品、側近への贈り物に使われるだろう。ロシアから石油や食料等の物資、更にはより価値のある核や原子力潜水艦、偵察衛星、ICBMに必要な先端技術を得られる可能性がある」と語る。

中・露の後ろ盾を得た北の国連での立場は強まる。拒否権を持つ2カ国がバックにつけば制裁も受けにくくなる。日・米・韓は、北への制裁を監視する新たな機構を設立するが、私達にとって、露朝の関係が更なる頭痛の種になるのは間違いない。